エフエックス・オンライン・ジャパン株式会社
〒105-0003 東京都港区西新橋3-24-10
ハリファックス御成門ビル 8F
TEL 0120-25-7734

日報

2006年4月21日（金） No.536

昨日の経済指標結果	予想	結果
英3月消費者物価指数	0.4%	0.2%
英3月小売物価指数	0.5%	0.4%
ユーロ圏3月消費者物価指数	0.6%	0.6%
加3月消費者物価指数	0.4%	0.5%
米新規失業保険申請件数	30.8万件	30.3万件
米3月景気先行指数	0.0%	-0.1%
米4月フィラデルフィア連銀景況指数	15.0	13.2
今朝の指標結果		
日2月第三次産業活動指数	-1.1%	-1.5%

要人発言

中国統計局

為替相場を調整するだけでは貿易不均衡の是正は図れない。

与謝野担当相

翌日物金利ゼロ%はいずれ是正されるべき。

ゼロ金利解除時期、日銀が独自の判断で行うもの。

長期金利、短期的にはコントロール可能でも中長期的にはできない。

ラトIMF専務理事

IMF、新興国の通貨を監視するシステムを近く導入へ。

谷垣財務相

足元の金利上昇スピードは少し速すぎる。

デフレが緩やかに継続するもとでの金利急上昇は決して望ましくない。

武藤日銀副総裁

長期金利、上昇してボラタイルな動き高まっている。

長期金利上昇の背景に景況感改善・海外要因・金融政策への見方。

いつゼロ金利解除するかはまったく予断持っていない。

長期金利動向には十分関心払っていく。

展望レポートを市場が咀嚼、しかるべき価格形成を期待。

長期金利に直接効果的な影響を与えることが出来ないのが一般的見解。

細川財務次官

ゼロ金利で日本経済支えてほしい。

足元の長期金利の動きは少し速すぎる。

ウェーバー独連銀総裁

インフレ期待を低水準に抑えるため、引き続き警戒が必要。

原油価格は国際経済にとって短期的ショックではなく恒久的重荷。

国際不均衡考えれば、ドルのより大幅な下落や米市場金利の上昇は排除できず。

ブッシュ米大統領

中国に更なる人民元上昇を求める。

胡中国国家主席は人民元問題に関して深刻に受け止めている。

米国は平和で、繁栄する中国の台頭を歓迎。

米中貿易は開放された市場で成長拡大が可能。

自由貿易は両国の発展を助ける。

米中は世界経済で繋がっている。

中国と率直な話し合いを行う。

台湾に関する米国の態度は変わらず。

北朝鮮が核放棄という正しい戦略的決断をした場合にのみ６カ国協議は成功する。

胡錦涌国家主席

中国は過剰な貿易黒字を求めているわけでない。

中国は米国の貿易や通貨に関しての懸念を理解しており、解決のため対応をする。

中国はイラン、北朝鮮の核問題の外交的話し合いを通した解決に協力。

米国とお互いの利益のために努力する。

継続して国内需要の押し上げる。

米国の「One China Policy」の支持には感謝する。

バーナンキ FRB 議長

地域社会の発展にはデータ収集、分析精度の向上が必要。

経済発展の全ての側面を数値化する事は不可能。

米中首脳会談

20 日東京外国為替市場のドル円は、仲値にかけて投信設定に絡む買いから堅調に始まり、また外貨建て投信追加募集から 117.80 以降の売りオーダーを試す動きが見られ 117.75 まで上昇した。ユーロドルは 1.2400 にオプショントリガーが控えていることから防戦売りが意識され 1.2333 まで弱含みに推移し、ユーロ円は本邦輸出企業や利食いの売りで頭は重いものの 145.00 をキープし高値圏で小動きとなった。

欧州勢参入後は、ユーロ円でやや強引に 145.50 ストップロスを試す向きが見られ 145.51 まで上値を試すと、ドル円も連れて 117.83 まで強含んだ。しかしながら、米中首脳会談から様子見姿勢も強くこれ以上は力不足となった模様。英 3 月消費者物価が予想を下回ったことからポンド売りが目立ち、ポンドドルは 1.79 台から 1.7822 まで、ポンド円は 210 円台を割り込み 209 円ミドルまで反落した。

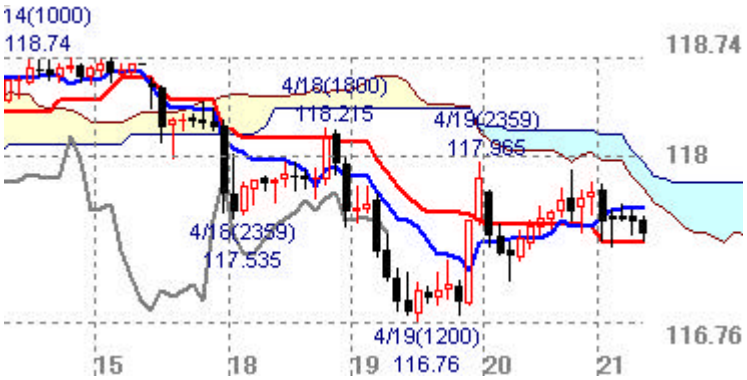
ＮＹ時間に入ると、米中首脳会談での人民元改革進展への思惑から高値圏で取引されていた欧州通貨を中心に対円で利食いが持ち込まれユーロ円は 145 円前半から 144 円ミドルまで、ポンド円は 209 円ミドルから 208 円後半まで急落。ドル円も、景気先行指数の弱い結果などもあり売り方優勢に 117.35 まで同様の値動きとなった。会談では市場が期待していたような発言は見られず、予定されていたバーナンキ

FRB 議長からも経済・金融政策に対する発言は見られなかったため、各通貨共に落ち着いた様子で取引を終えていった。

米中首脳会談で胡錦濤国家主席は、貿易面・人民元改革について一段の対処を約束したものの、具体的な時期などの言及はなく、市場に与えた影響は限定的となった。ドル円は三角保ち合い放れが焦点となりテクニカル的にも注意すべき日が近づいている。本日から予定されている G7 では原油価格上昇の対策、日米欧の金融引き締めがもたらす市場への影響などについて議論されることになっている。

本日の経済指標予定	**予想**	**前回**
10:30 豪 Q1 輸出入物価指数（輸入/輸出）		0.4%/2.2%
21:30 加 2 月卸売売上高	0.1%	1.8%
21:30 加 2 月小売売上高	0.1%	1.4%

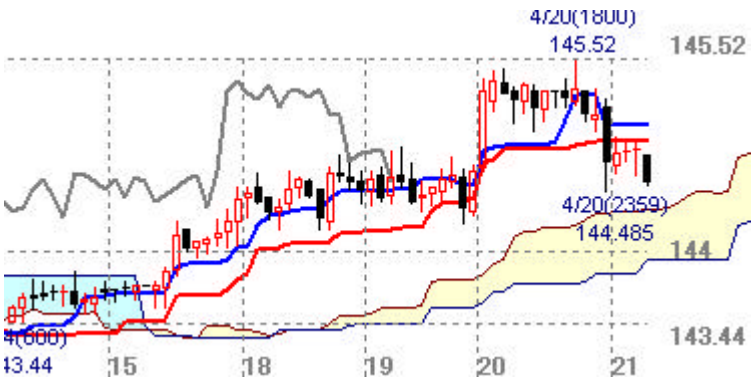
USDJPY 2 時間足



119.20： 3/13 日足高値
118.90： 4/11 日足高値
118.40： 4/17 日足高値
117.95： 4/19 日足高値
117.10： 4/20 時間足ｻﾎﾟｰﾄﾗｲﾝ
116.70： 4/5 日足安値
116.40： 一目 雲下限
116.25： 3/21 日足安値

日本時間の動きは一昨日からの上げの流れを引き継いできたかと思われたが、NY 時間にダレてきた。転換線（青）は基準線（赤）をすでに上抜けているので、トレンドは上と見ていいが、雲下限でブロックされるかもしれない。今日は、まず雲内に入れるかを確認してから買ってもよさそうだ。逆にここから下げ始めるようだと、下げきるまで待ってから買いで入りたい。

EURJPY 2 時間足



147.80： 98’9 月安値
147.00： 2%移動平均線上限
145.95： 98’6 月安値
145.50： 4/20 時間足高値
144.20： 4/18,19 日足安値
144.00： 4/18 日足高値
142.70： 4/4,7 日足安値
142.30： 3/31 日足安値

最高値更新するまで上げた後だけに、修正安は想定内だろう。下げても 144 円台に納まっている間は、まだまだ上昇トレンド継続と見たい。ローソク足は基準線（赤）を割り込んでいるものの、遅行線はまだローソク足を下切っていないので、ここからかもしくは雲上限付近での反転を期待したいところ。今日は、あえて押し目を探ろうとせずにS/L は 144 円に置いて素直に買い仕掛けて新高値更新を期待する週末としたい。

4 月 20 日レンジ

	USDYEN	EURUSD	USDCHF	GBPUSD	EURYEN	USDCAD	AUDUSD
OPEN	117.39	1.2374	1.2675	1.7908	145.26	1.1358	0.7461
HI	117.90	1.2375	1.2818	1.7908	145.51	1.1425	0.7461
LOW	117.32	1.2287	1.2674	1.7756	144.53	1.1356	0.7357
CLOSE	117.55	1.2317	1.2786	1.7788	144.79	1.1390	0.7379

本レポートはお客様への情報提供のみを目的としたもので売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終ご判断はお客様ご自身の判断でなさるようにお願いいたします。本レポートを原因とするお客様の直接あるいは間接的損失および損害について一切の補償には応じません。以上の点をご了承ください。
[Copyright] InterNavi Co., Ltd.